

事務事業名		福祉推進員の委嘱事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業				
政策体系	政策名	安心が確保されたまちづくりの推進 012		事業期間		予算科目				
	施策名	ともに支え合う地域づくりの推進 017		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 59 年度～)		会計 款 項 目 事業				
	基本事業名	相互扶助の啓発と普及 013				01 3 1 1 11				
根拠法令		大船渡市福祉推進員設置規則				事務事業区分				
所属	部課名	生活福祉部地域福祉課		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↓ 【計画期間】 年度～ 年度 *全体計画欄の総投入量を記入					A 政策事業	
	課長名	佐々木 翼							A	
	係名	福祉推進係	電話						27-3111	B 施設整備
	担当者	熊谷小百合	内線						182	C 施設管理
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 民生委員・児童委員を福祉推進員として市長が委嘱し、それぞれの担当地区において福祉思想の啓発を図るとともに、市長が必要とする事項の調査及び連絡業務に従事する。 ・ 事業費の内訳は報酬。民生委員・児童委員は無報酬であるため、各機関の連絡調整のための費用(交通費)、各種研修参加等の経費の意味合いがある。(会長・副会長・地区会長61,400円(年額)、委員54,000円(年額)) 						総投入量	財源内訳	国庫支出金		
			事業費	都道府県支出金						
			地方債							
			その他							
			一般財源							
			事業費計(A)	0						
			人件費	正規職員従事人数						
				延べ業務時間						
				人件費計(B)	0					
				トータルコスト(A)+(B)	0					

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

前年度実績(前年度に行った主な活動)

それぞれの担当地区において福祉思想の啓発を図り、市長が必要とする事項の調査及び連絡の業務に従事した。

今年度計画(今年度に計画している主な活動)

令和元年度をもって事業を終了

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

福祉推進員
市民

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

担当地区内で高齢者、障害者、生活困窮者等の相談支援活動ができる。
市民が、気軽に相談できる。

④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)

協力して、福祉活動に取り組むことができた。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)

名称	単位
ア 活動日数	日
イ	
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
カ 福祉推進員数	人
キ 人口	人
ク 世帯数	世帯
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
名称	単位
サ 相談支援件数	件
シ 訪問回数	回
ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

事業費 投入量	年度 単位	年度				
		27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(実績)
財源内訳	国庫支出金 千円					
	都道府県支出金 千円					
	地方債 千円					
	その他 千円					
	一般財源 千円	6,226	6,215	6,224	6,237	6,321
	事業費計(A) 千円	6,226	6,215	6,224	6,237	6,321
人件費	正規職員従事人数 人	2	2	2	2	2
	延べ業務時間 時間	10	10	10	10	10
	人件費計(B) 千円	40	40	40	40	40
	トータルコスト(A)+(B) 千円	6,266	6,255	6,264	6,277	6,361
⑤活動指標	ア 日	15,531	15,608	16,186	16,251	14,906
	イ					
	ウ					
⑥対象指標	カ 人	114	114	114	114	114
	キ 人	38,167	37,633	36,933	36,234	35,471
	ク 世帯	15,022	14,959	14,903	14,936	14,867
⑦成果指標	サ 件	2,886	3,141	2,825	3,117	2,526
	シ 回	15,595	17,473	18,716	19,204	17,689
	ス					

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

- 市社会福祉行政の円滑な推進を図り、市民生活の安定及び福祉の増進を期するため昭和59年に設置された。

(2) 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

平成13年11月 旧三陸町と合併したことにより、推進員数が29名増員となった。平成13年12月から、児童福祉の強化のため、主任児童委員が各地区1名から2名に増員になった。震災後の地域事情を考慮し、定数や担当地区的見直しを行い平成28年12月の民生委員一斉改選期に定数を4名増員した。しかしながら、近年、相談事例の多様化、複雑化により、民生委員・児童委員のなり手が少なく、欠員が生じている地区的委員(推進員)の欠員期間が長くなっています。

(3) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

- 從来から複数の地区を受け持つ委員から定数の増員が望まれてきた。震災後の地域事情に鑑み、定数や担当地区的見直しを行い、平成28年12月の民生委員一斉改選期に定数を4名増員した。しかし、増員した4地区が欠員となっているため、速やかな選任を要望されている。

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】  <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかず、意図することが結果に結びついているか？
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】  <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 	なぜこの事業を当市が行わなければならぬのか？税金を投入して、達成する目的か？
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】  <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？
有効性評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】  <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】  <input type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？
効率性評価	⑥ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】  <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】  <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できいか？(アウトソーシングなど)
公平性評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】  <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性

- 1 現状維持
 - 2 改革改善(縮小・統合含む)
 - 3 終了・廃止・休止
- 

(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等

(2) 改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
向上	成績維持			

左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。
(終了・廃止・休止の場合は記入不要)



4 課長等意見

(1) 今後の方向性

- 1 現状維持
- 2 改革改善(縮小・統合含む)
- 3 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

福祉推進員は、福祉行政を推進する上で地域住民と行政を結ぶ非常に大切な役割を担っており、地域の実情に応じて適切に配置していく。